

ピリピ
の手紙

不平も言わず 疑わず

ピリピ人への手紙2章13～30節

キリストへの従順

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 従順のもたらす実 2:13～18

II. テモテの派遣 2:19～24

III. エパフロディトの帰還 2:24～30

IV. まとめと適用

不平も言わず 疑わず



エペソの遺跡

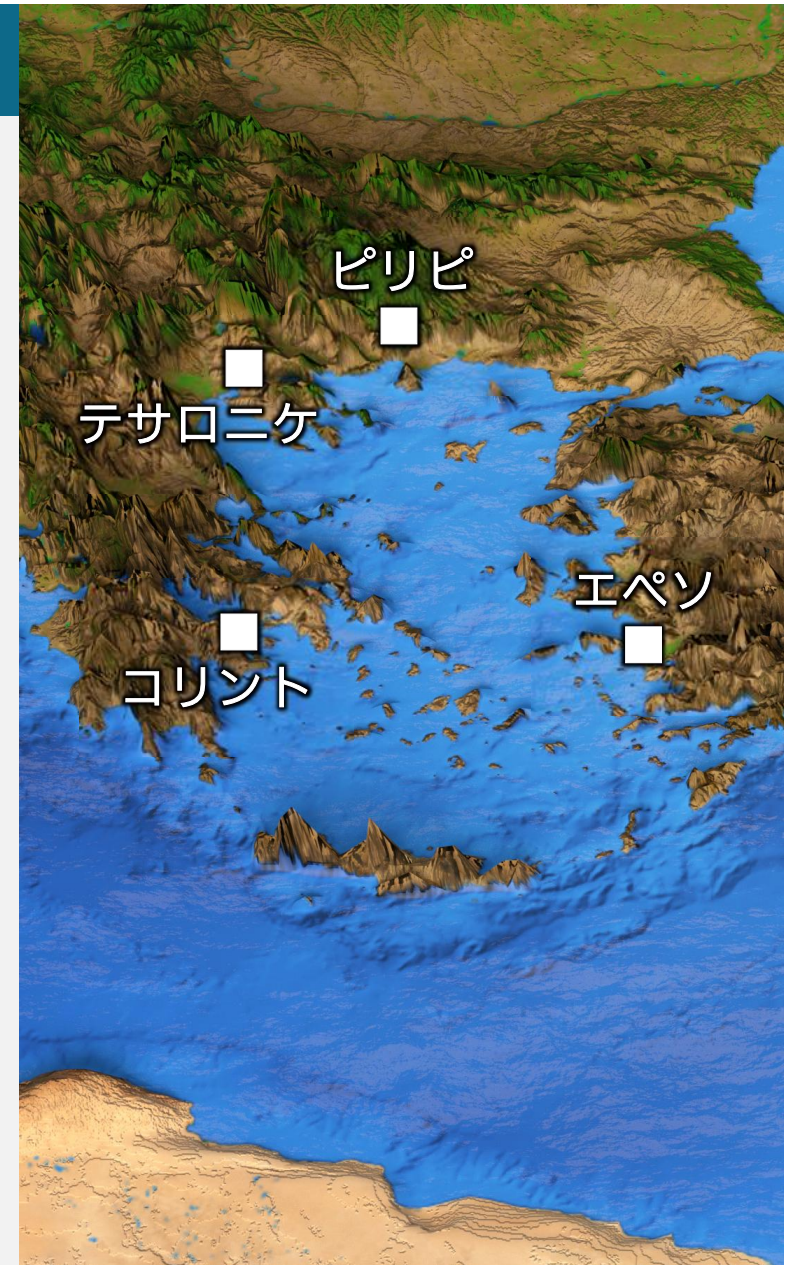


I. イントロダクション

ペリピの遺跡

ピリピ人への手紙とは？

- 著者 …パウロ、テモテ(書記?!)
- 宛先 …ピリピ(ヨーロッパ初の宣教地)
- 場所・時期 …ローマ？ エペソ?!
60年代初め?! 50年代半ば?!
- 背景 …ピリピ教会が、獄中のパウロに
エパフロデトを送ったが…
- 内容 …「愛の手紙」と呼ばれる



前回のまとめ キリストの福音にふさわしい生活

キリストの福音にふさわしい生活とは、

- ①兄弟姉妹が共に歩みつつ、励ましあい、
- ②キリストの愛をもって、共に慰めあい、
- ③聖霊、聖餐、奉仕、福音宣教による交わりが、
地域教会を通してあり、
- ④キリストの愛と神の憐れみがあること

信仰の日々を礎に、用いられ、遣わされていく!!



I. 従順のもたらす実

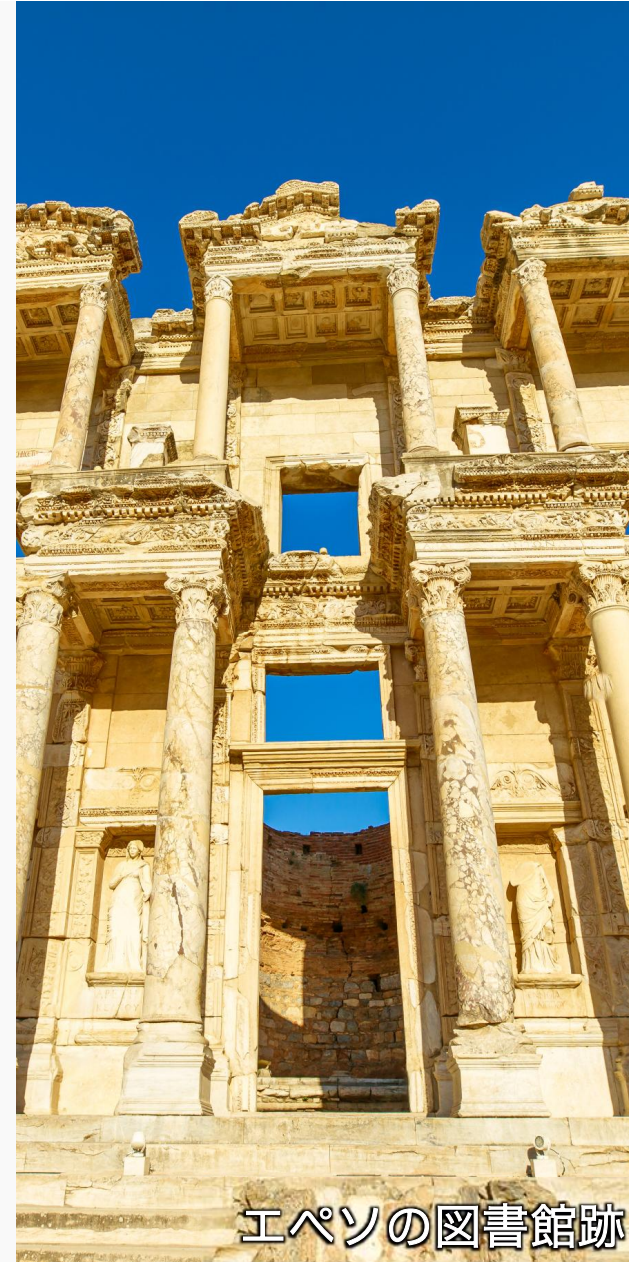
ピリピ人への手紙2章13～18節

エペソの円形劇場

勧告 従順の根拠 ピリピ2:13～14

神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。すべてのことを、不平を言わずに、疑わずに行いなさい。

■ 信仰者が主に従い、奉仕することができるのは、主が、私たちの内で導き、後押しされるから。



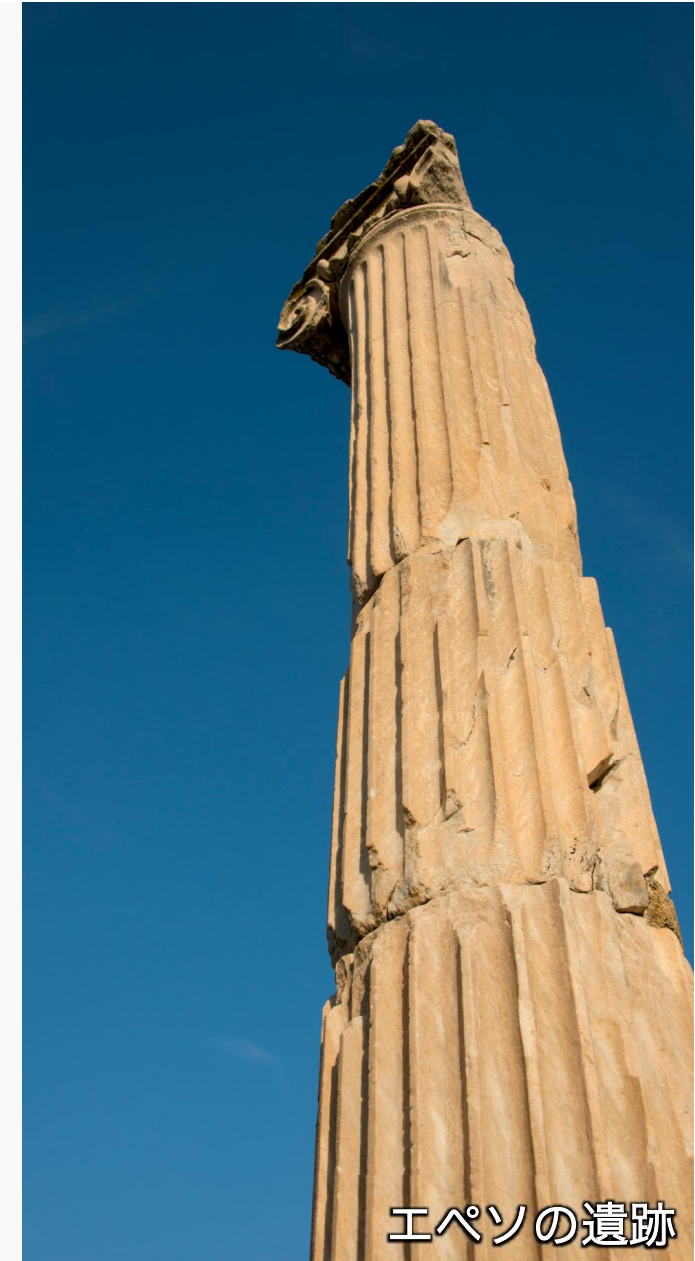
エペソの図書館跡

勧告 従順の実 ピリピ2:15～16a

それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代*のただ中であって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかりと握り、彼らの間で世の光として輝く*ためです。

*主に従い、御霊に満たされることで可能に。

*主の言葉、約束がねじ曲げられる邪悪な時代



エペソの遺跡

勧告

従順の実 ピリピ2:16b

そうすれば、私は自分の努力したことが無駄ではなく、労苦したことも無駄でなかったことを、**キリストの日***に誇ることができます。

＊キリストによる裁きの日

➡“キリストの御座の裁き”

信者にとっては、報酬が定められる時



エペソの遺跡

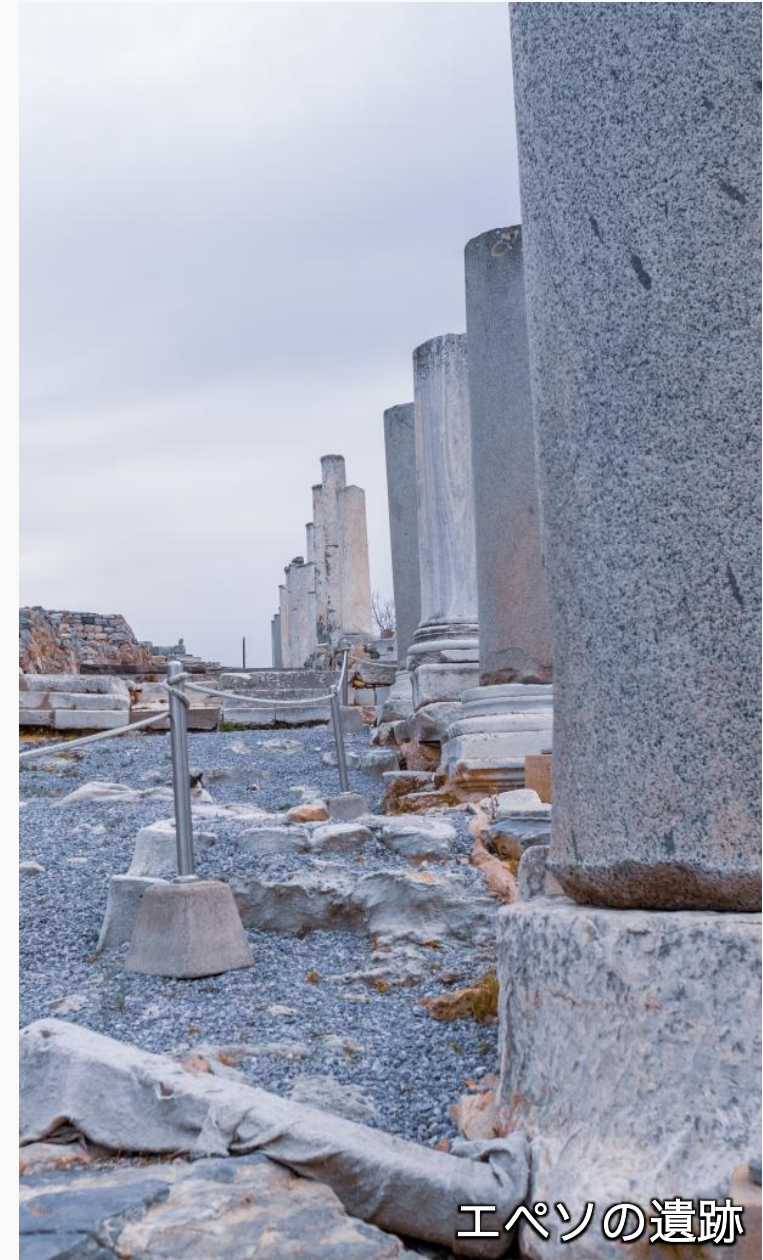
勧告 注ぎのささげ物 ピリピ2:17～18

たとえ私が、あなたがたの信仰の礼拝という
いけにえに添えられる、**注ぎのささげ物***と
なっても、私は喜びます。あなたがたすべて
とともに喜びます。

同じように、あなたがたも喜んでください。
私とともに喜んでください。

＊全焼のささげ物と共に祭壇に献げる血

➡“たとえ殉教することになっても”



エペソの遺跡



Ⅱ. テモテの派遣

ピリピ人への手紙2章19～24節

エペソの遺跡

テモテとは？

- アジア州のリストラ出身。
- 父はギリシャ人。母はユダヤ人。
祖母ロイスと母ユニケより信仰を受け継ぐ。
幼い頃から聖書教育を受けた。
- 第二次伝道旅行のパウロと出会い、同行する。
- パウロの信頼厚く、残留したり、派遣されたり。
6つの手紙をパウロと共同執筆(コリントⅡ、
ピリピ、コロサイ、テサロニケⅠ・Ⅱ、ピレモン)



派遣

テモテ ピリピ2:19～20

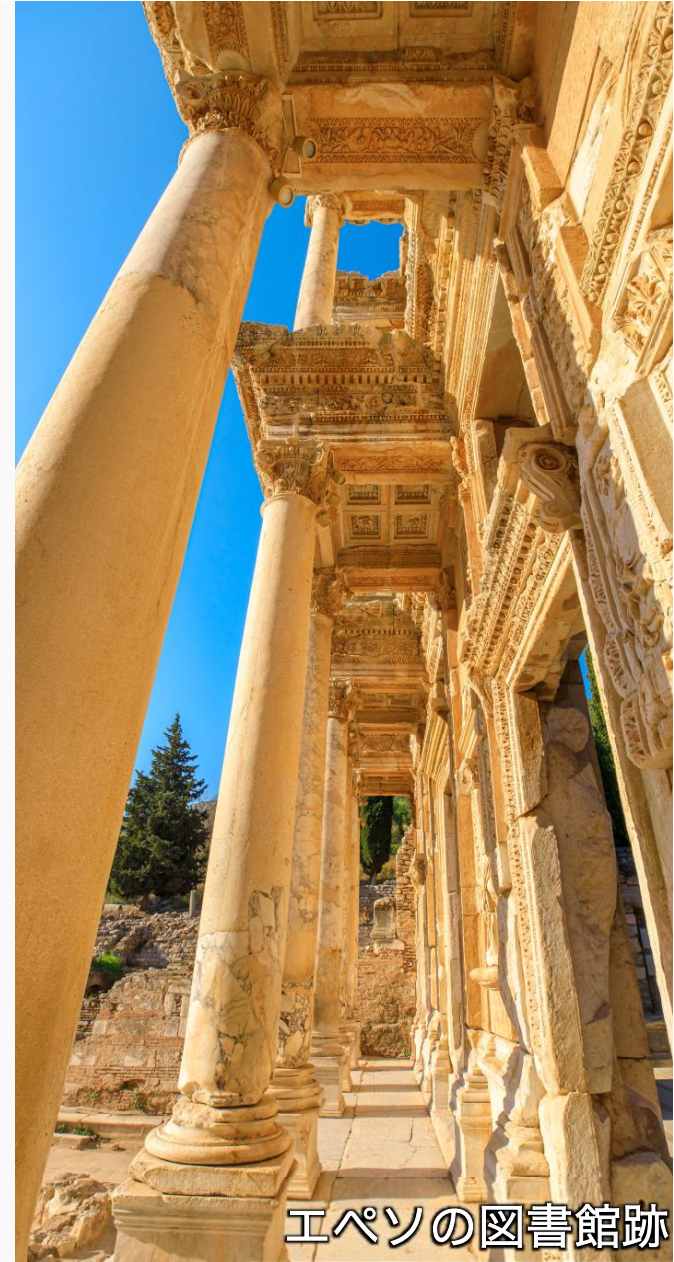
私は早く**テモテ**をあなたがたのところに送りたいと、**主イエス**にあって望んでいます*。あなたがたのことを知って、励ましを受けるためです。

テモテのように**私と同じ心になって***、真実にあなたがたのことを心配している者は、だれもいません。

*何より大切なこと

*こんなことが言える人がいる？

■牧会でも一致していた、パウロとテモテ。



エペソの図書館跡

派遣

福音のための奉仕 ピリピ2:21～22

みな自分自身のことを求めている、イエス・キリストのことを求めてはいません*。

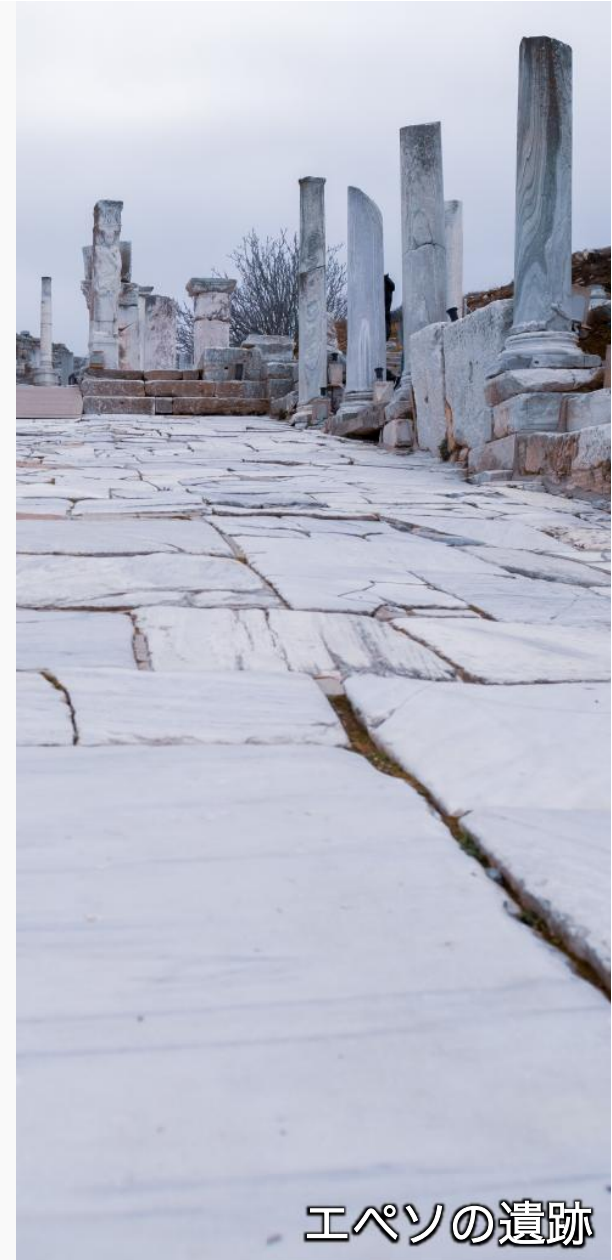
しかし、**テモテ**が適任であることは、あなたがたが知っています。子が父に仕えるように*、**テモテ**は私とともに福音のために奉仕してきました。

*教会内、クリスチャンの間でも、これが現実

➡真実に主を求める者は少ない

*パウロに仕え、何より主に仕えてきた

■主を求めるとは、主に仕えること



エペソの遺跡

派遣

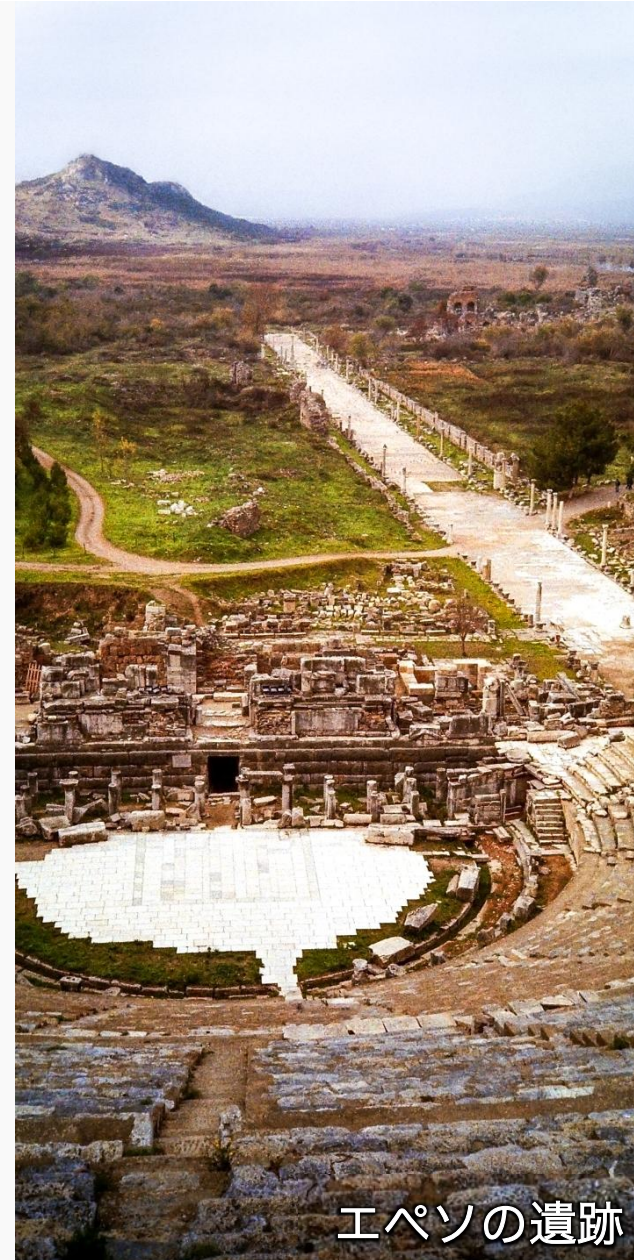
主にある願いと確信 ピリ2:23～24

ですから、私のことがどうなるのか分かり次第*、
すぐに彼を送りたいと望んでいます。

また、私自身も近いうちに行けると、主にあっ
て確信しています*。

*パウロも何らかの危機にあった?!

*苦難の中でも主の平安に満たされていた



エペソの遺跡



Ⅲ. エパフロディトの帰還

ピリピ人への手紙2章25～30節

ピリピ 円形劇場

派遣

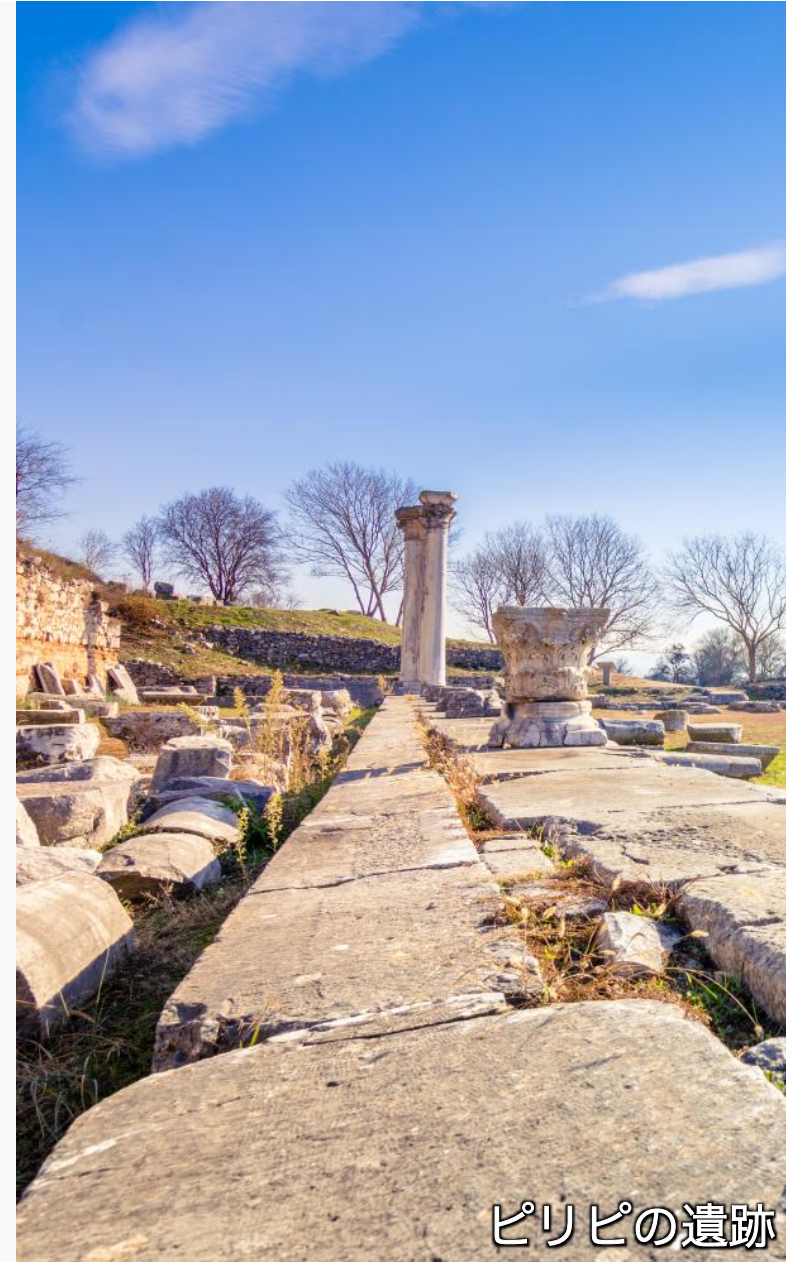
エパフロディト ピリピ2:25

私は、私の兄弟、同労者、戦友*であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれたエパフロディトを、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

*他はピレモン1:2のみ 「戦友アルキポ」

■最初は、会堂もなかったピリピ。

小さな教会から大事な働き手を遣わした。



ピリピの遺跡

派遣

二人の苦難 ピリピ²:26～27

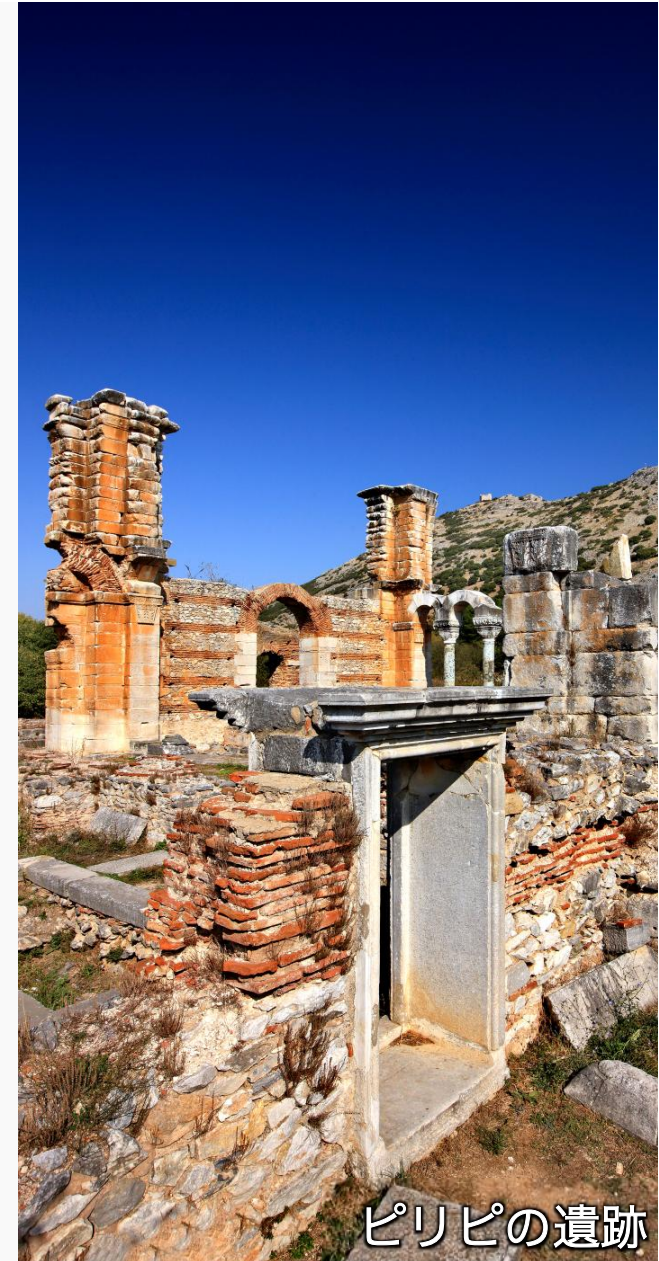
彼はあなたがたみなを慕っており、自分が病気になったことがあなたがたに伝わったことを、気にしている*からです。

本当に、彼は死ぬほどの病気*にかかりました。しかし、神は彼をあわれんでくださいました。彼だけでなく私もあわれんでくださり、悲しみに悲しみが重ならないように*してくださいました。

*自分よりも兄弟姉妹を案ずるエパフロディト

➡死ぬほどの病*に侵されながら

*同時期にパウロも命の危機にさらされていた



ピリピの遺跡

派遣

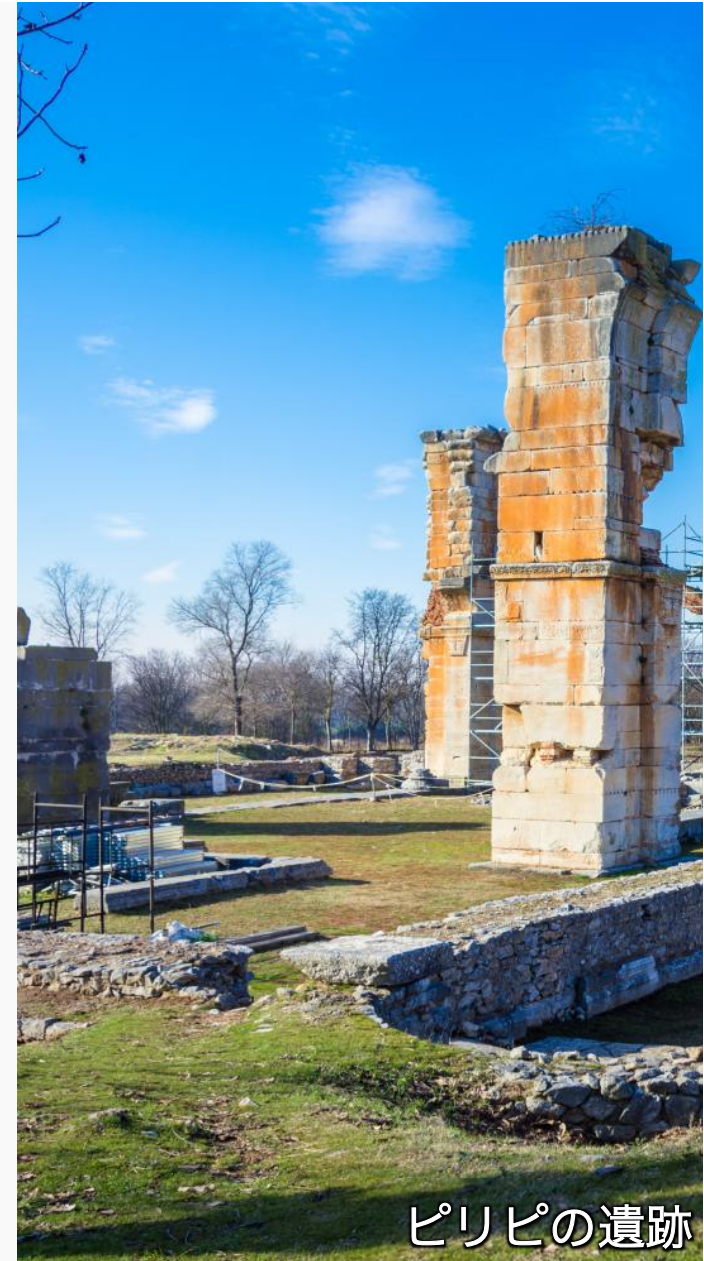
喜びをもって ピリピ2:28～29

そこで、私は大急ぎで*彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるためです。ですから大きな喜びをもって*、主にあって彼を迎えてください。また、彼のような人たちを尊敬しなさい。

*むろん何日もかかる旅だけれど

*心配以上に抱いているべき、主にある喜び

■パウロもエパフロディトも、ピリピの教会の人々も、互いに互いを思いやる兄弟姉妹の姿



ピリピの遺跡

勧告

慰めと励まし ピリピ2:30

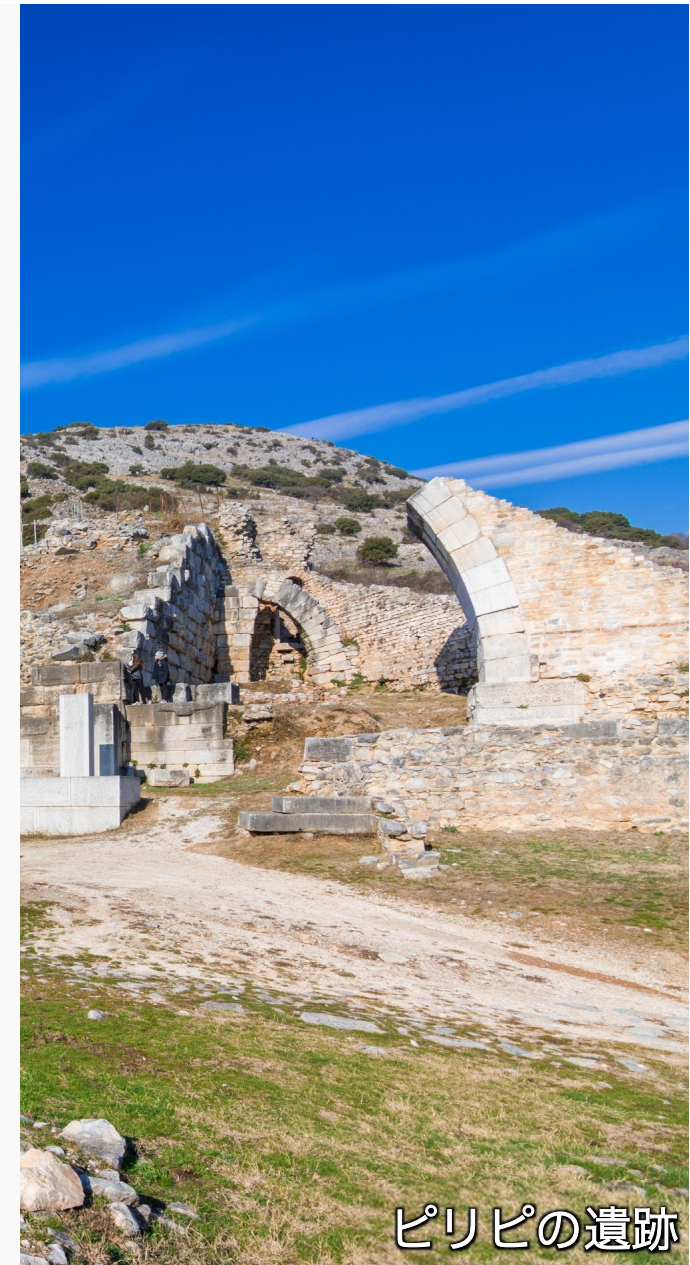
彼はキリストの働きのために、死ぬばかりに*
なりました。あなたがたが私に仕えることがで
きなかつた分を果たすため*、いのちの危険を冒
した*のです。

*ピリピの人々のそもそもの動機

*死ぬほど病と三度も強調(27,30節)

■ 病気や事故は、たやすく信仰の躓きになる。

➡ エパフロディトと教会が失意に陥らないよう、
配慮を重ねるパウロ自身にも同様の経験が。



ピリピの遺跡



IV. まとめと適用

不平も言わず 疑わず

ペリピの遺跡

罪とは、不従順

■ 神への不従順が、罪

「かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、**不従順の子ら**の中に今も働いている霊に従って歩んでいました。エペ 2:2」

■ 人は誰もが不従順な罪人だった

「私たちも以前は、愚かで、**不従順**で、迷っていた者であり、いろいろな欲望と快楽の奴隷になり、悪意とねたみのうちに生活し、人から憎まれ、互いに憎み合う者でした。テトス 3:3」

不従順は、滅びにいたる罪

■不従順な罪人に、神の怒りが下る

「このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。

だれにも空しいことばでだまされてはいけません。こういう行いのゆえに、神の怒りは**不従順の子ら**に下るのです。エペ5:5～6」

■ 死にいたる**罪の奴隷**か。義にいたる**従順の奴隷**か。

「あなたがたは知らないのですか。あなたがたが自分自身を奴隷として獻げて服従すれば、その服従する相手の奴隷となるのです。つまり、**罪の奴隷**となって死に至り、あるいは**従順の奴隷**となって義に至ります。ロマ 6:16」

➡ 主に不従順な者は、滅びにいたる**罪の奴隷**

➡ 主に従順な者は、義にいたる**従順の奴隷**

信じるとは、主への従順を選択すること

■ 求められる、福音宣教の使命への従順

「この(奉仕の)務めが証拠となって、彼らは、あなたがたが**キリストの福音の告白に対して従順**であり、自分たちや、すべての人に惜しみなく与えていることを理解して、神をあがめるでしょう。

Ⅱ コリ 9:13」

■ 福音を信じた者に求められる、**福音の告白への従順**
(福音宣教)

■ 従順の完成、不従順への裁きの時

「私たちは様々な議論と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち倒し、また、すべてのはかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。

また、あなたがたの**従順**が完全になったとき、あらゆる**不従順**を罰する*用意ができています。 II コリ10:5～8」

*「私たちは御使いをも裁く者(I コリ6:3)」

■ 世にある限り、教理的にも、靈的にも、信仰の戦いは続く

従順の完成、不従順への罰 →キリストの再臨の時

従順のもたらす実

「それは、あなたがたが、**①非難されるところのない純真な者**となり、また、曲がった邪惡な世代のただ中であって**②傷のない神の子ども**となり、**③いのちのことばをしっかりと握り**、彼らの間で**④世の光として輝く**ためです。ピリ2:15～16」

①主に対する純真さ

②キリストの律法の遵守

③御言葉への固い信頼

④世の光として用いられること

従順の結果、主がもたらしてくださること

私たちが従順であるべき最大の根拠

■ヘブル人への手紙5:8～10

「キリストは御子であられるのに、お受けになった様々な苦しみによって**従順**を学び、完全な者とされ、ご自分に従うすべての人にとって永遠の救いの源となり、メルキゼデクの例に倣い、神によって大祭司と呼ばれました。」

**主イエスご自身が、私たちを救うため、
へりくだって従順を学ばれた**

★ 不平も言わず 疑わず ★

■ 私の罪のため死んで復活された、キリストへの**従順**が、救い。
主に**従順**に歩み、聖霊に満たされて行くのが、聖化の成長過程。
従順が完成するのが、御国で栄光の体を与えられる、栄化の時。

■ 日々、御言葉を味わい、学びを深め、**従順**を強めているか。
主に、教会の権威に、兄弟姉妹に、**従順**に仕えているか。
従順の完成の時を仰ぎ見、日々、**従順**に歩んでいるか。

不平も言わず、疑わず、喜びと感謝を持って従順に歩もう!!

てん　　とう
「天のお父さま。私たちの罪^{つみ}をゆるしてください

わたし　　かみ　　こ　　しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし　　つみ　　あがな　　じゅうじか　　し
①私たちの罪^{つみ}を贖^{あがな}うために十字架^{じゅうじか}で死^しなれ、

はか　　ほうむ
②墓^{はか}に葬^{ほうむ}られ、

みっかめ　　ふっかつ　　しん
③三日目^{みっかめ}に復活^{ふっかつ}されたこと、を信^{しん}じます。

わたし　　じゅうじゅん　　わたし　　つみゆる　　すく
主イエスの従順^{じゅうじゅん}のゆえに、私たちは罪赦^{つみゆる}され、救^{すく}われました。

わたし　　じゅうじゅん　　ひび　　あゆ　　よ　　ひかり
私たちも従順^{じゅうじゅん}に日々^{ひび}を歩^{あゆ}みます。世^よの光^{ひかり}としてください。

じゅうじゅん　かんせい　とき　えいこう　しゅ　　こ　　とき　　ま　　のぞ
従順^{じゅうじゅん}の完成^{かんせい}の時^{とき}、栄光^{えいこう}の主イエスが来^こられる時^{とき}を待ち望^まみます。

ふくいんせんきょう　しめい　　しゅ　　じゅうじゅん　　つか
福音宣教^{ふくいんせんきょう}の使命^{しめい}へと、主^{しゅ}への従順^{じゅうじゅん}をもって遣^{つか}わしてください。

しゅ　　な　　いの
主イエス・キリストのみ名^なによって祈^{いの}ります。　　アーメン」